

2022年8月31日
株式会社ADEKA

みずほ銀行との「ポジティブ・インパクトファイナンス」融資契約を締結

株式会社ADEKA（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、株式会社みずほ銀行（以下、みずほ銀行）との間で「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス」^{※1}の融資契約を8月31日に締結しました。

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンスは、ポジティブ・インパクト金融原則^{※2}に基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクトを包括的に分析・評価し、「ポジティブなインパクトを生み出す意図を持つ取り組み」と確認された場合、その活動の継続的な支援を目的として融資が行われるものです。

今般、当社の事業活動のうち、下表テーマについて分析・評価を受けたところ、SDGsの達成に対してインパクトをもつ内容であり、融資対象に該当するとの評価をいただき、契約締結に至りました。

なお、今回の評価につきましては、株式会社日本格付研究所（JCR）から第三者意見書^{*3}を取得しています。

ADEKAグループは、SDGsの達成に向けた取り組みを加速し、公正・透明な企業活動を通じて、「技術」と「信頼」でステークホルダーの期待に応え、持続可能な社会に貢献することを目指します。

インパクト	KPI	目標・方針
雇用	労働災害件数（当社グループ）	毎年：0件
健康・衛生	「環境調和型製品」に関する取り組み	取り組みの推進
気候、資源効率・安全性	GHG排出量削減率（スコープ1、2） （基準年：2013年度）（当社グループ）	2030年：46%削減 2050年：カーボンニュートラル
	GHG排出原単位（当社生産部門）	2022年度：前年度比1%改善
	水使用量の把握 （当社グループ）	当社 国内グループ会社 海外グループ会社
廃棄物	最終埋立処分量／産業廃棄物発生量（当社）	毎年：ゼロエミッションの継続 （0.1%未満をゼロエミッションと定義）
包括的で健全な経済	女性管理職比率（当社）	2025年度：5%以上 2030年度：10%
大気、水（質）、土壌、廃棄物	「環境貢献製品」売上高（当社グループ）	2030年：2019年度比3倍
人格と人の安全保障、生物多様性と生態サービス	持続可能なパーム油の調達に関する取り組み状況（当社グループ）	毎年：取り組みの推進

【契約概要】

アレンジャー	みずほ銀行
参加金融機関	国内金融機関 3 社
組成金額	100 億円
契約締結日	2022 年 8 月 31 日

※1 Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス

詳細は、みずほ銀行プレスリリースをご確認ください。

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20210625_2release_jp.pdf

※2 ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアティブが 2017 年 1 月に策定した SDG s の達成に向けた枠組。企業が SDGs 達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラス影響の増大、マイナス影響の低減の努力を導くもの。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

※3 株式会社日本格付研究所（JCR）のホームページ

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上

■ 本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社 A D E K A 法務・広報部 総務・広報グループ Tel:03-4455-2803